2023.06.18

大岳山ハイキング

ハイキング同好会　服部

　2023 年６月 17 日土曜日に、のびのびになっていた大岳山ハイキングを実施した。土曜日になったのは、本来の火曜日が「一時雨あるいは雷雨」の予報で、17 日の天気予報が良かったせいだ。そして当日は予報にたがわず、朝から快晴。８時 30 分、いつものメンバーが２台の車でケーブルカー麓駅(滝本駅)駐車場に集合する。久々の晴天、週末も重なり、予想通りの混雑。駐車場はほぼ満車。そしてケーブルカー乗り場まで長い列。しかし臨時便が出て、この長い列もすぐ解消される。帰りも臨時便が出て、すんなり下山できた。臨機応変な会社の対応に拍手。

乗り場は、この先階段を上って、右に折れた先。

　陽射しが射すように痛いがほぼ気持ちのいい木陰を歩く。今回は、御岳神社やロックガーデン、七代の滝などに寄らず、大岳山を目指す。途中石垣にびっしりユキノシタの花が咲いている。小さな白い花が目に爽やかでかわいい。

ユキノシタ

　緑陰の登山道をひたすら歩く。この辺は歩きやすい山道だ。しかし芥場峠を過ぎると、山道はところどころ狭くなり、露岩部が出てくる。これらは、浸食に強いチャートが分布しているせいだ。用心しながら、そして後ろからくる若いハイカーに道を譲りながらゆっくり歩く。

しばらく歩くと、廃業した山荘に着く。この近くにトイレがあるが、とても汚い。男性はその形態上何とか用を済ますことが出来るが女性にはつらい。はっきり言って、よっぽどのことがないと、このトイレは「使えない」。ただこのルートではハイカーが多く「どこでもトイレ」が使えない、我慢するしかない。

ここで、登山ルートは右に折れて神社脇を通って、大岳山に、ほぼ直登する。約 20 分で山頂に着く。今回は、両脚が攣ったメンバーがおり、少し早いが、時間稼ぎもあり、直登前にランチにした。

結局、このメンバーは登頂を諦め、ここで待つことになった。登頂組は、リュックを残留メンバーに託し直登する。リュックがない分身体が軽い。山頂は人であふれている。食事場所を確保するのもむずかしいほどだ。下でランチして良かった。

山頂では「青い富士山」が遠望できる。丹沢山容も、奥多摩の山々も良く見える。

一通り景色を堪能し、早々に降りる。山荘跡付近広場で待つメンバーに再開し、そろって下山する。予定より早く、14 時 50 分、山上駅に着く。14 時 58 分臨時便で下に降りる。

　下山途中、別のメンバーも足が攣った。夏になる前で暑さに体が練れていないところに、汗を多くかき、水分の補給が足りなかったのだろう。もう少し、「水分補給休憩」を取らなければいけなかった、反省している。

　次回は７月 11 日㈫　棒ノ折山、梅雨は開けているだろうか？

以上

クジャクシダ